



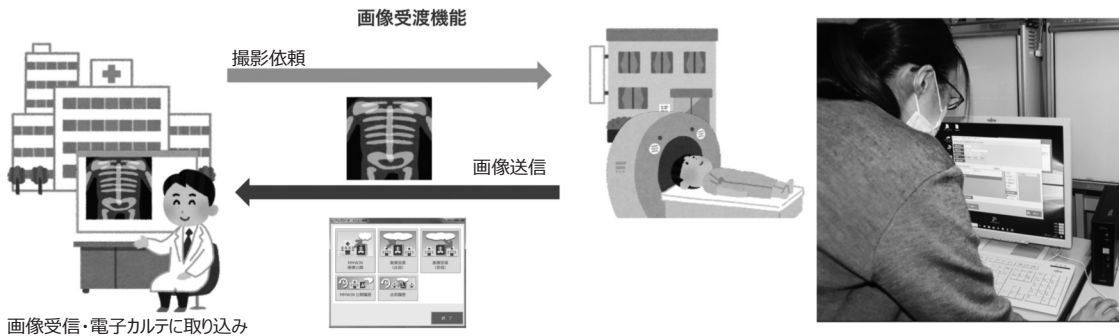
## MMWIN<sup>®</sup> みんなのみやぎネット<sup>®</sup>

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために  
Vol. 113

### 「画像受渡機能」で患者さんの待ち時間削減に

かかりつけ医から専門医へご紹介をされる場合、患者さんは紹介状とともに、検査画像データが入ったCD-Rなども一緒に持参することが多いかと思えます。医用画像は撮影枚数に合わせてデータ容量が大きくなるため、紹介先医療機関ではこれらデータの取り込みに、患者さん1人の画像でも1時間以上かかることもあるそうです。この取り込み時間が、そのまま患者さんの待ち時間につながるケースもままあり、結果的に患者さんの負担増につながっていることが予想されます。

東北大学病院様では、診療待ち時間削減の取り組みとして、2023年10月より関係医療機関に対し、検査画像データの事前送付について協力の依頼を行われており、併せてMMWINの「画像受渡機能<sup>\*</sup>」を利用する方法についても試行運用を受け付けられています。これらの一環として、2024年1月には仙台星陵クリニック様と東北大学病院様との間での「画像受渡機能<sup>\*</sup>」を利用した電子授受が実施され、2月末から本格的な運用が開始されています。今回は、試行運用中の各医療機関のフローや、その効果などについてご紹介いたします。



仙台星陵クリニック様では、東北大学病院様へ「画像受渡機能<sup>\*</sup>」でデータを送信した後、MMWINシステム内に作成した東北大学病院ご担当者様とのグループチャットに、送信が完了した旨を通知します。一方、通知を受けた東北大学病院ご担当者様は対象患者を確認し、同機能から画像を取得、院内の一時サーバに画像を取り込みます。両施設とも、本機能を実患者で利用することがほぼ初めてということもあり、初回のやりとりにはMMWINスタッフも立ち会わせていただきましたところ、「想定していたよりも難しくなく、スムーズに画像送信（受信）ができた」と、それぞれの施設からますますのご評価をいただきました。試行運用期間中は、全20件のデータ授受が行われました。仙台星陵クリニックご担当者様のご協力の下、送信の際にかかる時間を集計しましたところ、平均的な値として1件（500枚、300MB）とすると、およそ15分程度で送信できるという結果が得られました。これは施設の通信環境にも影響を受けることから一概にはいえませんが、従来のメディア作成よりも作業時間の短縮が図れることがわかりました。

※画像受渡機能 MMWINネットワークを介して、画像検査情報や診断レポート情報を電子的に受け渡す機能です。専用アプリを導入した端末と院内PACSを接続し、画像データの取得、取込が可能となります。なお、時限的な施設間のデータ共有であるため、対象となる患者さんは必ずしもMMWINに加入している必要はありません。

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)

【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】[office@mmwin.or.jp](mailto:office@mmwin.or.jp)



『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。